

---

# 童話と偉人伝

浅川太郎

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

童話と偉人伝

### 【NNコード】

N4885Z

### 【作者名】

浅川太郎

### 【あらすじ】

童話や偉人伝には、どこか変なところ、ありはしないか

(前書き)

バスに乗って書をました。

たしかに僕は数十本の短編小説を集中的に投稿した。

でも自分のことを作家と名乗つていいものか、躊躇ためらわれる。

童話らしきものも一本投稿はしているが、さらに童話作家とは程遠い存在であろう。

で、僕は童話作家にモノ申したい気分なのだ。

童話にはよく、欲をかきすぎる　大阪弁では欲をこきすぎる  
と、後で酷い目にあうという教訓が示される。  
そして正直であれば、大判小判がざつくざくと説く。  
これ、どこか矛盾してはいか?

僕が子供なら、大判も小判も要らないし、従つて正直である必要もないなあと考えるかもしれない。程よき欲望とか、欲望の中庸なんて、通常の大人にとつても難しいテーマである。

童話作家に猛省を促したい。

ついでに、僕は幼少の頃、相当数の偉人伝を読ませたほうだと思いきどりである。

でも、この年になると、ほとんどすべての読者は偉人になる訳はないといふことも判つてくる。

であれば、むしろ、偉大な「凡人伝」とでもいう本を子供の頃から読むべきではないか。

偉人伝を刊行する出版社に、一考いただければ、幸いです。

売れたことのない作家らしき者からの、ささやかな提案です

(後書き)

と、思いました？

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4885z/>

---

童話と偉人伝

2011年12月16日17時51分発行